2019 天明農地水環境保全管理協定運営委員会 広報

ご挨拶

多面的機能支払い事業は、今年度より制度を変更して 第4期(5年間)がスタートします。それに伴い、天明環境 保全隊も13年目を向かえております。皆さんの様々な活動によりきれいな環境が保たれ、地域の輪が着実に広がっています。



運営委員会 会長槌 田 榮一



天明環境保全隊事務所



役員

我々の住んでいる豊かな環境を維持し農業と農村が発展するためには、 皆さんの地域ぐるみの活動が必要であります。

今年度も天明環境保全隊に団結し、知恵を出し合い、地域づくリが進む ことを期待しております。

天明農地・水・環境保全管理協定運営委員会を開催~2019年度事業計画・予算決定~

2019年4月13日、集落保全隊代表(31名)、農業・環境団体、学校関係等の団体保全隊の代表(16名)出席の下、運営委員会を開催し、2018年度活動報告・決算及び2019年度活動計画・予算が決定されました。



運営委員会の様子▶

《保全隊の目指すもの》

- ●若者が希望を持てる農業と活力ある農村の創出をめざす。
- ●安心安全な食料生産や地域の生活環境のために、連携活動を展開する。

2019年度役員選出

4月の運営委員会で、下記の方々が役員に選出されました。毎月末の役員会において、活動を審査し、活発化するよう企画していきます。

役 職	所 属 団 体	氏名	選任区	役 職	所 属 団 体	氏 名	選任区
会 長	海路口大農区長	槌田 榮一	大農区長	"	二十丁集落保全隊	斎藤 和之	川口地区
副会長	熊本市南土地改良区	村上 義博	土地改良区	"	下五丁集落保全隊	高田 國明	護藤·三本松地区
理事	中緑1町内集落保全隊	原田 正弘	中緑地区	"	天寿園	米満 淑恵	事業所
"	本田·枝溝集落保全隊	東修二	銭塘地区	"	天明水の会	浜崎 勝	環境団体
"	中内田集落保全隊	吉田 雅光	内田地区	監査役	熊本市農協	工藤 裕司	熊本市農協(天明)
"	古新地集落保全隊	甲斐 隆弘	奥古閑地区	"	農業委員会	角居 登	農業委員会(天明)
"	御郡集落保全隊	豊田 晃	海路口地区				

《2019年度天明環境保全隊の組織図》 受付/毎月10日~20日 農業団体(3) 9:00~17:00 ·農協 集落(31) ※土日祭日休み、期間以外は ·農業委員会 (3,526名) ・水土里ネット 受け付けません ·代表·会計係 各団体の活動費は、毎月 ·副代表·工事係 末日に開催する役員会で 環境団体(3) 運営委員会 審査後の振り込みとなり ·自治会 ·NPO天明水の会 ます。 ·農 区 ·加勢川開発研究会 (47団体) ·公民館 集落毎の連絡箱を設置し ・EM環境ネットワーク ましたので利用下さい(日 ・女性の会 報・日当等の活動のコ ·消防団 ピー等) 学校関係(7) ·老人会 ·青少協(2) ◎証拠写真がない場合は、 子ども会 支払いできないので ·小学校(4) 福祉事業所(3) 注意下さい。 ·中学校(1)

お知らせ

《制度改正により交付金が増額されます》

- ○対象農用地拡大 411万円 農業振興地域外(白地:①中沖·五丁·六丁 ②銭塘·内田 ③御郡)については、農振地同様に交付金が算出されます。 ただし、農振編入を促し、5年間転用しない旨の同意が必要です。上記3地区も防草シートの施行ができます。
- ○加算措置 ①多面的機能増進を図る取組 356万 施設の修繕等を直営施工(自ら施工・外注しない)で行う場合は、交付金が増額されます。

《資材の一括注文》

平成19年度からの資材(用水調整器、排水桝、暗渠キャップ、土嚢袋等)の一括注文を来年度より中止します。

①負担金徴収しない集落がある②個人や農区で余分に保管し施工しないなど不公平性が生じている③資材は行き渡り更新が進んだ等の理由です。ただし、必要な場合は、資材を購入して証拠写真+領収書を提出すれば、支払いは可能です。なお、レンゲは注文を取ります。

2019年度活動のポイント

《水をテーマに学校との連携》

三本松・護藤・天明地区には、小学校7校、中学校2校あります。

小中学校では田植え体験、生き物調査、水源かん養林の保全、EM菌の投入、清掃など地域と学校が一体となった活動が展開されています。

次世代を担う子供たちに農地・水・生き物等の環境に関心を高め、理解を深めましょう。



天ぷら油の再利用(銭塘小) 〜油を水路(廃水)に捨てない〜



下草刈り体験~水源かん養の役割~ (山都町:天明未来の森)



農業用水と田んぼの役割〜出前講座〜 (川口小)



田んぼの学校~田植え体験~(力合西小)



学校・福祉の連携(花植)~福祉事業所で育てた花苗~

《地域活性化に繋げる 農村文化に触れる》

脈々と受け継がれてきた農村文化に触れることで、歴史、伝統文化・農業への関心も深まります。人と人のつながりを生かし、次世代の地域住民に伝承しましょう。



毎年開催されるレンゲ祭り



火祭り[どんどや]



案山子(熊本城マラソンでも応援)



川祭り



福祉との連携[高齢者との交流]



茅の輪づくり

環境Tシャツ贈呈

天明中学校の全生徒と天明地区の4小学校4年生全員に環境ロゴの描かれた たTシャツを配布しました。

下草刈り、花植、生き物調査、清掃等の活動に利用しています。



環境Tシャツを着て作業(天明中)



環境Tシャツ贈呈(小学4年生)



Tシャツのデザイン

ゴミ捨て・犬の啓発看板

昨年度の配布したゴミ・犬の糞防止の看板の追加は事務局まで申し込み下さい。





ゴミ捨て禁止看板(左) 犬の糞持ち帰り啓発看板(右)

生物多様性の保全活動

熊本市は、生物多様性戦略~いきもん つながる くまもとCプラン~を策定しました。生物多様性を保全するには、社会全体

で生物多様性の価値を理解し、守る行動が必要です。

天明環境保全隊は、熊本市内で 環境活動を実施している事業所や 団体同士の情報共有のため、いき もんネットに加入し、熊本市の仲 間と連携して活動していきます。



生き物調査・成育発表会

2018年12月、市環境共生課、校長先生や保護者の方等110名 超の参加のもと、生き物調査・ホタル成育発表会を開催しました。 5月~10月、小学校(六校)の児童64名が月に一回、水路や田んぼ の生き物調査を行いました。コウモリ、ウシガエル、モクズガニ、タナ ゴ等珍しい生き物も報告され「春には又来るのか」「生き物を守る ためにゴミを捨てない」など不思議や気づきもありました。また、銭 塘小、天明中学校より「水環境づくり」などホタル飼育の成功秘話 や苦労話の発表がありました。身近な生き物を観察し、その変化を 知り、環境問題に関心を高めるよい機会となりました。



生き物調査発表

2019年生き物調査

夏休みの時期に地域で見かける鳥類、両生類、昆虫類、甲殻類など生き物の調査を行います。水辺環境の自然 度を知る指標となり、種類の変化から環境の変化を評価します。

今年度は、干潟、川、田んぼでの生き物調査を行うことにしています。11月にホタルの育成と併せて発表会を開催 予定です。

今年度も、小学校高学年の方々を対象に調査員を募集します。事務局までお尋ね下さい。

天明環境保全隊 生物多様性アクション大賞2018入賞

天明環境保全隊は、2018年12月「生物多様性アクション大賞2018」(主催:国連生物多様性の10年日本委員会)で「守ろう部門入賞」を受賞しました。

豊かな生態系を未来に残すため、自然や生きもの調査・保全・再生や地域文化の保存等の活動が高く評価されました。

活動内容

- 1. レンゲ(200ha)による景観形成、 化学肥料の低減。
- 2.酸欠魚を救出し、川に戻す。
- 3. ビオトープ(8箇所)による生き物やホタル等の育成。
- 4. 外来水草や外来タニシの除去。
- 5. 刈草を堆肥化し資源循環、ゴミの減量。
- 6. 水源涵養林の育樹(4箇所森の 植林·下草刈)。
- 7. 竹炭による水浄化。
- 8. 学校との連携による生きもの調査、発表会の開催。





出席者(県多面的協議会、市環境共生課、学校長等)

天明環境保全隊の活動をPR

活動内容

平成31年2月、火の君文化センターにおいて「まちづくり自慢大会」が開催され、南区管内の各地域から6団体がまちづくり活動の事例発表が行われました。

地域のつながりを生かした環境活動、文化 伝承活動、様々な事業所・団体が参加した活 動の紹介をしました。



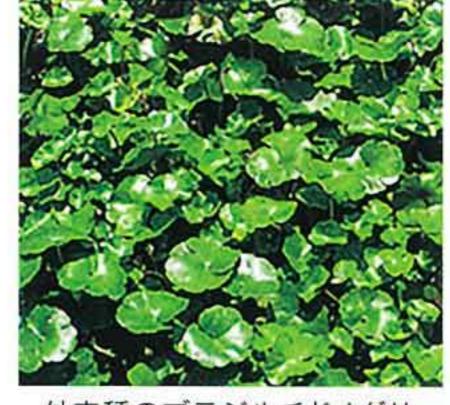


特定外来水草の防除



外来種のナガエヅルノゲイトウ (陸上でも根を張る)

ナガエツルノゲイトウは、 水田に侵入し、大量に繁 茂して水中に光が届かな くなり、生態系に影響をお よぼします。乾燥に耐える ため、田面と畦畔の両方 で防除が必要です。



外来種のブラジルチドメグサ

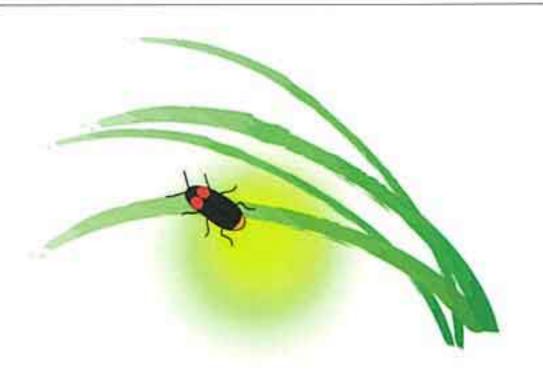
ブラジルチドメグサは、 ちぎれやすく破片から も増えます。乾燥に弱く 陸地で乾燥させれば枯れます。

風や雨で流出させない ことが大事です。

ホタルの里づくり

平成27年度よりホタルの飼育に取り組んでいます。

今年も5月から6月にヘイケホタル(多いときは30匹)が飛翔しました。 今年度も8箇所で天明生まれ・天明育ちのホタルの育成にチャレンジします。 なお、方丈平木は水槽で飼育後、水田に移して飼育。川口小はホタル池を 設置する予定です。





天明中



下内田公民館横



中緑小



学料公民館横



銭塘小



奥古閑小



川口小



平木·方丈

農地維持支払(物財費、機械経費、日当等)農振地区以外も活動可

活動費 35,676千円 (田:3,000円/10a×1,180ha=35,412千円 畑:2,000円/10a×13ha=264千円)

【点検·機能診断】



施設の点検・機能診断

【計画策定会議·検討会:年2回】



年間活動計画会議

実践活動



砂利敷き



樋門のカキ殻落とし



水路の藻上げ



放棄地の手入れ



マラソン前の集落連携の清掃(東塘)



用水ゲートの保守管理

資源向上(施設補修·農村環境の保全·多面的機能増進)

活動費 21,390千円(田:1,800円/10a×1,180ha=21,248千円 畑:1,080円/10a×13ha=142千円)

■啓発·普及



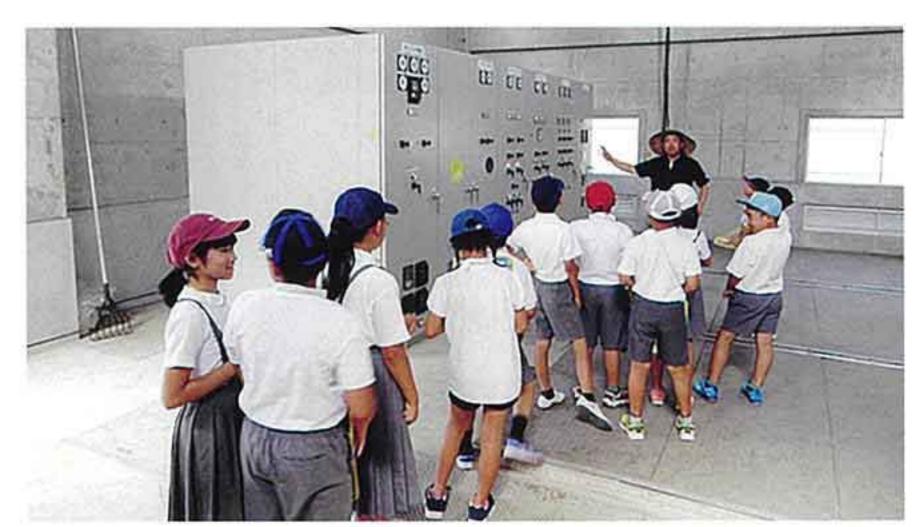
手作り看板(ゴミ捨て禁止)



活動パネル展示・アンケート調査(天明市民の集い)



のぼり旗で熊本城マラソン応援(東塘)



田んぼと用水路の役割・排水機見学会

施設補修



芝による法面保護



農道のひび割れ補修



目地詰め



堰板製作



ゲートのサビ落とし塗装



防草シートは、排水路・幹線用水路の管理 省力化を図る目的です。

農業振興地域が対象で、路線単位での施 工とし、全域完了には約7年必要です。

各集落保全隊の計画により施工箇所を 決定し、他集落と連携し施工して下さい。南 部地区は、幹線排水路を終えた後に支線排 水路の施工になります。

◀防草シート張り

水質保全



竹炭づくり(天明中)



水浄化 炭入れ



水質調査



EM活性液製造(保全隊倉庫)

■水源かん養林の保全



水源かん養林の下草刈り(阿蘇市)

₽景観·生活環境



消化用水·生息用水確保

景観·生活環境



レンゲ(減化学肥料) 180ha



わら小積づくり

生態系保全



酸欠魚の救助池



外来水草の除去



外来タニシの除去

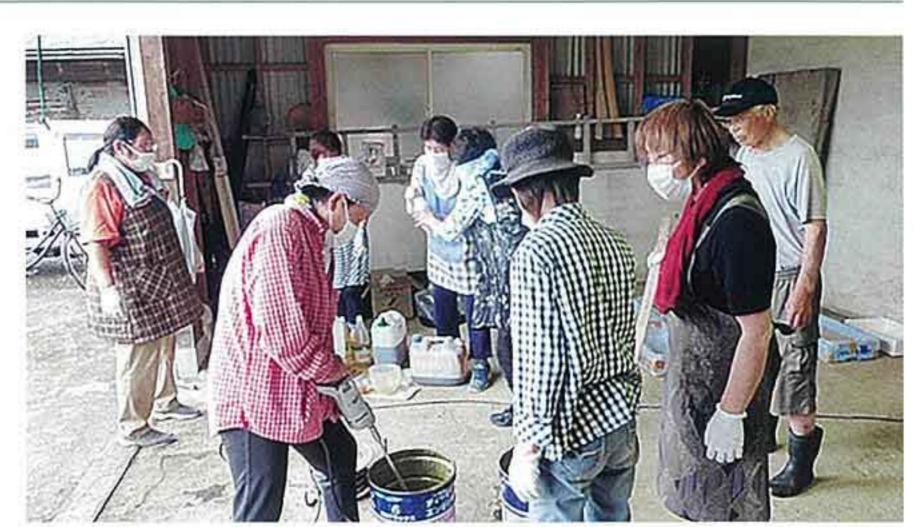


レンゲのすき込み(サギが飛び降りてきた)

資源循環



刈った草を堆肥づくり



廃油を石鹸へ

■文化の伝承



ハゼの実口ウソクづくり



しめ縄づくり



雨乞い太鼓



万灯みこし

資源向上活動(施設の長寿命化)用水路・用水ゲート・用水ポンプ等の補修・更新

活動費 52,202千円(田:4,400円/10a×1,180ha=51,938千円 畑2,000円/10a×13ha=264千円) ※予算不足のため、現在の交付額は52,202千円×65%=33,931千円の予定です。

老朽化した土地改良施設(水路・ポンプ・ゲートなど)の修理・更新を実施し、長寿命化に取り組みます。 事業費30万円以下の場合は、集落保全隊が主体となり、自分達の手で改修(発注可)となります。個人性の強い施設改修は対象外になります。

事業費30万円超の場合は、集落の機能診断を基に→校区単位で検討会(集落保全隊代表 + 工事担当理事)を経て、 天明環境保全隊の理事会で審査・決定後、発注して整備します。

今年度より、原則1工事200万円以下の補修・更新費となります。



①機能診断



②校区単位の検討会





④入札状況



集落保全隊+工事担当理事の現地調査(更新前)

竣工検査(水路橋の更新)(更新後)





竣工検査(水中ポンプの更新)

竣工検査(スクリーンの更新)





竣工検査(ゲートの更新)

竣工検査(水路嵩上げ)

《天明環境保全隊事務所》〒861-4125熊本市南区奥古閑町1863-5

TEL:096-223-2226 FAX:096-223-5606 Eメール:tenmei-hozen@rose.plala.or.jp